3　入札書の提出場所等
⑴　入札書の提出場所、契約条項を示す場所、入札説明書の交付場所及び参加資格等の問い合わせ先　〒950―3301 新潟市北区笹山3490　日本中央競馬会　新潟競馬場　総務課　ＴＥＬ025―259―3141
⑵　入札説明書の交付方法　上記⑴または、入札説明会の際に交付する。
⑶　入札説明会の日時及び場所　平成30年１月11日（木）13時30分　日本中央競馬会　新潟競馬場　大会議室
⑷　入札、開札の日時及び場所　平成30年２月８日（木）13時30分　日本中央競馬会　新潟競馬場　大会議室
4　その他
⑴　契約手続において使用する言語及び通貨　日本語及び日本国通貨
⑵　入札保証金及び契約保証金　免除
⑶　入札の無効　本公告に示した競争参加に必要な資格のない者の提示した入札書及び入札条件に違反した入札書は無効とする。また、落札者が落札決定から契約締結までの期間に競争入札参加停止措置を受けた場合は、本入札に関する一切を無効とする。
⑷　契約書の作成の要否　要。なお、契約金額について、金額内訳書を別途提出することとする。
⑸　落札者の決定方法　上記２の要件を満たした者であって、本会が作成した予定価格の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。
⑹　本入札に参加する者は予め「日本中央競馬会物品等入札心得」を熟覧し、承諾したうえで入札しなければならない。
5　Summary
⑴　Official in charge of contract : Yasuyuki Shimizu Assistant General Manager of Niigata Racecourse of Japan Racing Association.
⑵　Classification of the services to be Procured : 53
⑶　Nature and quantity of the services to be required : Transportation service for racecourse by Chartered Bus.
⑷　Fulfillment period : From 24 March 2018 to 31 March 2019.
⑸　Fulfillment place : Between Niigata Racecourse and JR Niigata Station etc.
⑹　Qualifications for participating in the tendering procedures : A, B, C or D.
⑺　Time limit of tender : By 1 : 30 p.m. 8 February 2018.
⑻　Contact point for the notice : General Affairs Section, Japan Racing Association, Niigata Racecourse 3490 Sasayama Kita-ku, Niigata-shi, Niigata 950―3301 Japan Tel 025―259―3141

入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。
平成29年12月４日
（契約責任者）
西日本高速道路株式会社　関西支社
支社長　村尾　光弘
◎調達機関番号　419　◎所在地番号　27
○第22号
1　工事概要
⑴　品目分類番号　41
⑵　工事名　湯浅御坊道路　日高川橋他３橋（鋼上部工）工事（不落札協議対象・電子入札対象）
⑶　工事場所　自）和歌山県日高郡日高川町小熊
至）和歌山県御坊市野口
⑷　工事内容　本工事は、湯浅御坊道路（有田ＩＣ～御坊ＩＣ）の四車線化事業に伴う、鋼橋上部工工事である。
⑸　工事概算数量
延長　約800m
鋼重　約2,100ｔ
⑹　工期　契約締結日の翌日から930日間
⑺　本工事は資料の提出、入札等を電子入札システムで行う電子入札対象工事である。なお、電子入札によりがたい者は、契約責任者に届出を行い、紙入札方式によることができる。
⑻　本工事は、「企業の高度な技術力」として入札説明書に参考として示した図面及び仕様書（以下「設計図書」という。）又はそのうちあらかじめ指定する部分（以下「標準案」という。）に係る具体的な施工計画その他の提案（以下「技術提案」という。）について記述した確認資料の提出を求め、入札価格とその他の技術的要素を総合的に評価した結果、西日本高速道路株式会社にとって最も有利な入札者を落札者とする総合評価落札方式の工事である。
⑼　本工事は、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける契約後ＶＥ方式の試行工事である。
⑽　本工事は、すべての入札参加者から単価表の提出を求める工事である。
⑾　紙入札方式の場合⑽の単価表は原則として電磁的記録媒体（ＣＤ―Ｒ）で提出するものとする。ただし、電磁的記録媒体での提出ができない場合は、紙の単価表を提出するものとする。
⑿　本工事は、総価単価契約の対象工事である。本工事では、受発注者間の双務性の向上とともに、変更契約等における協議の円滑化を図るため、落札決定から契約締結までの間に発注者及び落札者が協議を行って、総価契約の内訳として項目ごとの金額（以下「単価」という。）を合意することとする。
総価単価契約の実施にあたっては、単価を個別に合意する方式（以下「単価個別合意方式」という。）によることとするが、落札者が希望した場合及び協議開始から14日以内に単価個別合意方式による単価合意が成立しなかった場合は、単価を包括的に合意する方式（以下「単価包括合意方式」という。）により行うものとする。
⒀　本工事は「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用（以下「実績変更対象費」という。）について、工事実施にあたって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事積算基準の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終設計変更時点で設計変更する試行工事である。
営繕費　労働者の送迎費、宿泊費、借上費（宿泊費、借上費については労働者確保に係るものに限る）
労務管理費　募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用
⒁　本工事は不落札協議の対象工事であり、落札者がいないとき又は再度の入札に付しても落札者がいないときに、当該入札手続が終了した旨を明らかにした上で、入札参加者に対して協議を要請する場合がある。
不落札協議は、不落札となった工事の単価、歩掛り、施工方法その他の技術的事項について、入札時において提出された単価表その他会社が求める資料に基づき会社・入札参加者の双方が確認するものである。
⒂　本工事は、総合評価落札方式における技術提案において「飛躍的に安全性の高い吊足場」に関する提案を求める試行工事である。
「飛躍的に安全性の高い吊足場」とは、橋梁工事において吊足場の組立解体作業に伴い発生する墜落・転落を防ぐために、技術提案で評価した飛躍的に安全性の高い吊足場を採用することで高所作業を省力化し構造及び作業性の安全措置を講じるものである。
2　競争参加資格　当該工事に係る競争に参加する者に必要な資格を有する者は、次に掲げる条件をすべて満足し、かつ、契約責任者による当該工事に係る競争参加資格確認の結果、資格があると認められた者とする。
⑴　西日本高速道路株式会社契約規程実施細則（平成17年細則第７号）第６条の規定に該当しない者であること。
⑵　開札時に、平成29・30年度西日本高速道路株式会社工事一般競争（指名競争）参加資格のうち、「鋼橋上部工工事」の資格を有し（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続き開始の決定後、西日本高速道路株式会社が別に定める手続きに基づく工事一般競争（指名競争）参加資格の再認定を受けていること。）、かつ、当該資格の認定の際に算定された客観的事項に係る点数が1,200点以上である者（上記の再認定を受けた者にあっては、当該再認定の際に、客観的事項に係る点数が1,200点以上であること。）。又は、この条件を満たす２者で構成された共同企業体。なお、経常建設共同企業体、協業組合及び事業協同組合は、特定建設工事共同企業体の構成員となれないものとする。
⑶　施工実績　平成14年度以降に元請けとして完成・引渡しが完了した次の同種工事の施工実績を有すること。ただし、施工実績は西日本高速道路株式会社が発注し、完成・引渡しが完了した工事（旧日本道路公団が発注した工事を含む。）である場合にあっては、評定点